

柔道整復科

学ぶこと
柔道整復
 修業年限: **3年**
 I部: 9:30-16:40(月・土 週6日制)
 II部: 18:00-21:10(月・土 週6日制)

伝統技術と最新医療を学び、患者さまと笑顔を共有できる人材を育てます。

受け継がれてきた技術、新たに育まれた知識が、さまざまな患者さまのニーズに応える実践的な教育カリキュラムに結実しています。地域のプライマリ医療をはじめ、スポーツや介護など多方面で活躍できる人材を育成します。



将来の活躍の場

活躍現場が多岐に渡る、柔道整復師の医療技術が注目を集めています。

接骨院勤務	スポーツ分野	病院・クリニック	介護分野	独立開業
地域の接骨院や整骨院などで、多くの柔道整復師が活躍しています。	プロ選手や一般愛好家などに対応するトレーナーとして、活躍が期待されます。	整形外科やリハビリテーション科での重要なスタッフとして、活躍の場が増えています。	転倒予防や筋力強化などの指導を通して、高齢者を支える人材が求められています。	骨折、脱臼、捻挫などの施術とともに、地域の医療機関と連携できる柔道整復師として活躍が期待されます。



在校生インタビュー

本当の医療現場にいるような、貴重な学びです。

人のためになりたいという強い気持ちから、柔道整復科で学んでいます。附設しているクリニックのドクターの授業や、CTやMRIの撮影法を学ぶ医用画像演習などは、最新の現場の声や医療技術が吸収できて、卒業後にすぐ役立つような気がします。学生の立場ではなかなか経験できないことです。先生方も、勉強に限らず精神的なケアもしてくださるのでとても感謝しています。勉強量が多く忙しい毎日ですが、クラスメイトと切磋琢磨してどんどん前向きになっている自分があります。幅広い年代の方々と、外傷の手当から社会復帰まで責任を持ってお世話できる人間になれば最高です。

|| 尾崎 萌もも

●I部2年生の1週間の時間割(例)

	1	2	3	4
月	9:30~11:00 国試対策 専門基礎	11:10~12:40 内科診断 治療学	13:30~15:00 外科診断 治療学	15:10~16:40 介護・健康 講座
火	人体 構造学Ⅰ	疾病の 成り立ち	運動器診断 治療学	—
水	固定法演習	上肢の 損傷学Ⅰ	—	生理学 (補習授業)
木	人体 機能学Ⅱ	下肢の 損傷学Ⅰ	人体 機能回復論	柔道教室
金	国試対策 専門臨床	体幹の 損傷学	ベッドサイド 演習	同好会での活動 天晴(あまはら)の会
土	総合基礎Ⅱ (化学Ⅰ)	総合基礎Ⅱ (英語Ⅰ)	—	—

※1:総合柔道整復演習 ※2:選択科目など
 ※3:整復および固定実技の練習・研究をする同好会

学びのポイント

柔道整復師としての必須能力に、「プラスアルファの実力」を加えます。

1 柔道整復師としての確かな能力を身につける

柔道整復学の根幹である理論・実技を3年間徹底的に学びます。また、医療従事者に必要とされる基礎医学・臨床医学の高度な能力も養成します。

2 豊富な選択授業ラインナップ

一人ひとりの可能性を広げるための、さまざまな授業を各年次とも用意しています。それぞれの生活スケジュールにあわせて自由に選択することが可能です。

3 附設クリニックの医師による実践的教育

医師による臨床医学の講義、最新の画像装置(MRI・CT)についての解説など、早くから実際の医療現場に触れることで、臨床家としての自覚を促します。

授業の流れ

年次ごとに、基礎、応用、実践へ段階的に積み上げる学習システムです。

1年次	2年次	3年次
柔道整復の基本技能の学習を通して、医療人としての自覚を持たせます。	臨床医学に基づき、各論を学びながら応用力や探求力を高めます。	臨床実習を通し、実践的技能と患者さまへの対応力を磨きながら、認定実技審査と国家試験に備えます。

カリキュラム

専門分野の「総合柔道整復演習」や選択科目などを充実させて、実践的技能を高めるカリキュラムを設置しています。

基礎分野	医療人として、また社会人として求められる一般教養を身につけます。 <input type="checkbox"/> 総合基礎(生物、化学、心理学、文章表現法、中国語、英語など) <small>※2年次まで履修。履修免除制度あり。</small>	選択科目など
専門基礎分野	人体の構造と機能、さまざまな臨床医学を通じて医療人としての基礎を養います。 <input type="checkbox"/> 人体構造学 <input type="checkbox"/> 人体機能学 <input type="checkbox"/> 疾病の成り立ち <input type="checkbox"/> 運動器診断治療学 <input type="checkbox"/> 内科診断治療学 <input type="checkbox"/> 外科診断治療学 <input type="checkbox"/> 柔道 など	専門分野
	スポーツトレーニングやコミュニケーション法等について実践的技能を育てます。 <input type="checkbox"/> スポーツトレーニング講座 <input type="checkbox"/> コミュニケーション講座 <input type="checkbox"/> 実践トレーニング講座 <input type="checkbox"/> 特別講座	
	柔道整復学について深く学び、実技授業・臨床実習を重ねて知識と技術を高めます。 <input type="checkbox"/> 運動器学 <input type="checkbox"/> 骨損傷学基礎 <input type="checkbox"/> 関節損傷学 <input type="checkbox"/> 柔道整復と基礎医学 <input type="checkbox"/> 上肢の損傷学 <input type="checkbox"/> 下肢の損傷学 <input type="checkbox"/> 体幹の損傷学 <input type="checkbox"/> 柔道整復と臨床医学 <input type="checkbox"/> 基本的治療法 <input type="checkbox"/> 臨床的治療法 <input type="checkbox"/> 総合柔道整復演習 <input type="checkbox"/> 臨床実習 など	

授業ピックアップ

さまざまなフィールドで活躍できる、高度な専門能力を育みます。

総合柔道整復演習(運動器学演習)

柔道整復師にとって最も必要とされる運動器(骨・筋・関節など)の知識について、実際に模型を手を取りながら立体的な理解を分かりやすく促します。

総合柔道整復演習(固定法演習)

ケガをした患部を、安静に保つため一定期間固定する柔道整復師の手技の一つ。授業では、特殊な材料を駆使して最適な患部の固定法を身につけます。

スキルアップ講座(スタビライゼーション)

体幹深部の筋を鍛えることでバランス能力を高めるトレーニング法です。介護予防やトレーナー活動への応用が可能な技術を、実践を通して学びます。